

資料提供年月日	平成27年7月16日	
問い合わせ先	課名	ESD推進課
	電話	直通 803-1351 内線 3761
担当者	職名 氏名	課長補佐 板野 直孝 主 任 小西 美紀

広 報 連 絡

(市長定例記者会見資料)

- 1 件 名 「ESD岡山アワード2015」の募集開始について
- 2 内 容 国内外のESD優良事例を顕彰
- (1) 募集期間：平成27年7月16日～9月25日
- (2) 募集内容
- ①グローバル賞
- ・対象：海外・国内でESDの事業を実施する団体
 - ・表彰：3件以内／副賞：賞金各400,000円
- ②岡山地域賞
- ・対象：岡山県内でESDの事業を実施する団体
 - ・表彰：2件以内／副賞：スタディツアー費用の一部
(上限各200,000円)
- (3) スケジュール (予定)
- ・11月 受賞団体決定
 - ・12月 表彰式
- (4) 周知方法
- ・市のホームページ
 - ・主催する各団体及びユネスコ・キーパートナーなどからRCEやCLCなど国内外のESD関係団体・組織へ周知 等
- (5) 主催
- ESD岡山アワード運営委員会 (国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)、ユネスコ・アジア太平洋地域教育局 (ユネスコ・バンコク事務所)、公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)、NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議(ESD-J)、公益財団法人 五井平和財団、岡山ESD推進協議会)、岡山市
- 3 備 考 参考資料として「「ESD岡山アワード2015」優良事例の募集について」を添付します。

「ESD 岡山アワード 2015」 優良事例の募集について

国内外においてESDの事業を実施する団体からのご応募をお待ちしております！



岡山地域では2005年から「岡山ESDプロジェクト」をスタートし、様々な機関や団体が連携・協働しながらESDを推進してきました。2014年には、岡山市において、「ESDに関するユネスコ世界会議」のステークホルダー会合及び関連会議が開催されました。

岡山市は、2015年以降のESD推進の枠組みである「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム（GAP）」のユネスコ・キーパートナーの1つに認定されており、引き続きESDを積極的に推進し、GAPに貢献するために「ESD岡山アワード」を創設します。

本アワードは、岡山市が、日本国内外においてESDの推進に貢献してきた団体等で構成される「ESD岡山アワード運営委員会」との共催により実施するもので、国内外におけるESDの優良事例を顕彰することで、ESDの見える化や普及に貢献し、ESDの事業を実施する団体の活動の充実への一助とすることを目的としています。

なお、「ESD岡山アワード2015」は、(A)「グローバル賞」及び、(B)「岡山地域賞」の2部門から構成されます。それぞれ応募資格等をご確認の上、該当する部門にご応募ください。

(A) グローバル賞

◆ 応募資格

海外・国内（岡山県内含む）で ESD の事業を実施する団体

※1 団体につき 1 応募に限ります。

◆ 照会

事務的な確認に必要ですので、ESD 岡山アワード主催団体、「ESD に関するグローバル・アクション・プログラム (GAP)」のユネスコ・キーパートナー（別表参照）、行政機関等、関係のある照会先の記載が必要です。

※「ESD 岡山アワード 2015 応募用紙」(A) グローバル賞の項目 2 にご記入ください。

◆ 賞金及び副賞

各 40 万円

◆ 受賞数

3 件以内

◆ 審査基準

以下の基準により審査を行います。

- ✓ 持続可能な社会の実現に向けて、地域コミュニティのビジョンを描き、多様なステークホルダー（人や団体）が協力しながら持続可能な社会の実現に貢献する教育や学び (ESD) を実践していること。
- ✓ 社会、経済、環境等の視点を一体的に組み入れて ESD を実践していること。
- ✓ 多様なステークホルダー（人や団体）が参画・連携・協働して事業を継続する仕組みができていること。
- ✓ 他の地域コミュニティでも模範となり、ESD の普及に貢献する可能性があること。
- ✓ 事業が今後も継続的に行われ、かつ発展する見込みがあること。

◆ 選考

ESD に関する有識者等を審査員とし、応募書類をもとに受賞団体を選考します。

◆ 受賞団体による事例発表・表彰

受賞団体は、12 月 13 日の「授賞式」において活動内容を発表していただきます。同日に表彰を行います。※詳細は受賞団体にご連絡します。

(B) 岡山地域賞

◆ 応募資格

岡山県内で ESD の事業を実施する団体

※ 1 団体につき 1 応募に限ります。

※ 岡山 ESD プロジェクト参加団体およびそれ以外の団体も応募可能です。

※ 岡山県内で実施されている事業については、「岡山地域賞」及び「グローバル賞」の両部門に各 1 件ずつ応募することができます。

◆ 賞金及び副賞

スタディツアー費用の一部（上限各 20 万円）

◆ 受賞数

2 件以内

◆ 審査基準

以下の基準により審査を行います。

- ✓ 若い世代の参画あるいは公民館や学校等が地域に主体的にかかわる等、持続可能な社会の実現に貢献する教育や学びを実践していること。
- ✓ 明確なビジョンを描き、取組みを行っていること。
- ✓ 他のステークホルダー（人や団体）と連携・協働していること。
- ✓ 地域の模範となり、ESD 普及に貢献する可能性があること。
- ✓ 事業が継続的に行われる見込みがあること。

◆ 選考プロセス

ESD に関する有識者等を審査員とし、応募書類をもとに受賞候補団体を選考します。

10 月中旬を目途に受賞候補団体を公表し、Web 等を通じて、公開投票を行います。

公開投票の結果を踏まえ、審査員が受賞団体を選考します。

◆ 事例発表・表彰

受賞団体及び受賞候補団体には 12 月 13 日の「授賞式」において活動内容を発表していただきます。また、同日に表彰を行います。※詳細は受賞団体にご連絡します。

1. 応募方法

1) 提出資料

- ① 別紙の「ESD 岡山アワード 2015 応募用紙」(A) グローバル賞または、(B) 岡山地域賞にご記入の上、提出してください。

※記載は、日本語または英語に限ります。

※応募用紙は以下の URL からダウンロード可能です。

URL: http://www.city.okayama.jp/esd/esd_00184.html

- ② 事業紹介用資料 (1 枚) を併せて提出してください。

①の応募用紙に加え、事業の概要やポイントがわかる資料を 1 ページ にまとめて提出してください。

※写真、図表、イラスト等も活用し、事業の魅力や内容が分かる資料を作成してください。サイズは A3 または A4。(タテ、ヨコ使いどちらでも可)

- ③ 応募用紙に記載した事項に関連する参考資料を、合計 5 ページを超えない分量で添付することが可能です。ただし、メールによる提出の場合、データ容量が 7 MB を超えないようご注意ください。

2) 提出期限

2015 年 9 月 25 日 (金曜日) 必着

3) 提出方法

①記入済みの応募用紙、②事業紹介用資料 (1 枚)、③参考資料を以下の応募先に、電子メール、郵送または持参にて提出してください。

〒700-8544 岡山市北区大供 1-1-1

ESD 岡山アワード運営委員会事務局 (岡山市市民協働局 ESD 推進課内)

E-mail: esd@city.okayama.jp

※電子メールにて提出される場合は、必ず件名に「**ESD 岡山アワード応募**」と記載してください。

2. 主催

ESD 岡山アワード運営委員会 (構成組織は以下の通り)、岡山市

- ・ 国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)
- ・ ユネスコ・アジア太平洋地域教育局
- ・ 公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター (ACCU)
- ・ NPO 法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議 (ESD-J)
- ・ 公益財団法人 五井平和財団
- ・ 岡山 ESD 推進協議会

3. お問い合わせ先

ESD 岡山アワード運営委員会事務局 (岡山市市民協働局 ESD 推進課内)

岡山市北区大供 1-1-1

Tel : 086-803-1354 Fax : 086-803-1777

Email : esd@city.okayama.jp 担当 : 小西

別表：「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)」のユネスコ・キーパートナー一覧

優先行動分野	機関・組織名
1. 政策的支援	Global Alliance for Disaster Risk Reduction and Resilience in the Education Sector (GADRRRES)
	Global Campaign for Education
	Global Partnership for Education
	International Union for Conservation of Nature (IUCN)
	Institute for Global Environmental Strategies (IGES)
	UN Alliance on Climate Change Education, Training and Public Awareness (Secretariat UNFCCC)
	Ministry of Education, Science and Technology, Kenya
	Beydaar Society and Echo Change
	Centre for Environment Education, India
	Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology - Japanese National Commission for UNESCO
	German Federal Ministry of Education and Research
	The Mediterranean Initiative for Environment and Sustainability (MEDIES)
	UNECE Secretariat
	National Council on Climate Change and Clean Development Mechanism, Dominican Republic
IOC (Intergovernmental Oceanographic Commission) (jointly with the World Ocean Network)	
2. 機関包括型アプローチ	Foundation for Environmental Education (FEE)
	International Association of Universities (IAU)
	Higher Education Sustainability Initiative (HESI)
	Global Universities Partnership on Environment and Sustainability (GUPES)
	UNESCO Chair "Higher Education for Sustainable Development"
	UN Global Compact's Principles for Responsible Management Education (PRME) initiative
	Wildlife and Environment Society of South Africa (WESSA)
	Asia-Pacific Cultural Centre for UNESCO (ACCU)
	Indonesian National Commission for UNESCO, Ministry of Education and Culture
	Korean National Commission for UNESCO
	Manitoba Education and Advanced Learning, Canada
	Millennium @ EDU Sustainable Education
	rootAbility
	Sustainability and Environmental Education (SEEd)
Ibero-American Alliance of University networks for environmental sustainability (ARIUSA)	
UNESCO Associated Schools Project Network (ASPnet)	
3. 教員やトレーナーの能力向上	Education International
	International Network of Teacher Education Institutions, UNESCO Chair, York University, Canada
	Microsoft Devices
	World Organization for Early Childhood Education (OMEP)
	Association for the Development of Education in Africa (ADEA)
	Environmental Education Association of Southern Africa (EEASA)
	Mohammed VI Foundation for Environmental Protection
	Queen Rania Teacher Academy
	National Working Committee on ESD, China
	RCE Tongyeong, Republic of Korea
	Groen Gelinkt, The Netherlands
	La Organización de Estados Iberoamericanos para la Educación, la Ciencia y la Cultura (OEI)
	Regional Environmental Center for Central and Eastern Europe (REC)
	The Learning Teacher Network, Sweden
	The Partnership for Education and Research about Responsible Living (PERL)
	The Swedish International Centre of Education for Sustainable Development (SWEDES)
	National Institute of Teachers Training of the Dominican Republic (INAFOCAM)
Planeta Océano	
Asia-Pacific Centre of Education for International Understanding (APCEIU)	

優先行動分野	機関・組織名
4. ユースの役割支援と動員	Earth Charter International Center for Education for Sustainable Development
	UNESCO Youth Forum Network
	10YFP (Secretariat by UNEP)
	WWF (World Wide Fund for Nature)
	3BL Associates
	Organisation De Développement Durable
	The Energy and Resources Institute (TERI)
	The Goi Peace Foundation
	Untouched World, New Zealand
	ECO UNESCO (Clubs), Ireland
	International Foundation for The Young Masters Programme on Sustainable Development
	Engagement Global gGmbH – Service for Development Initiatives
	YESPeace Network (Youth for Education, Sustainability and Peace Network) of the UNESCO Mahatma Gandhi
	Institute of Education for Peace and Sustainable Development
5. 地域・地方での取組の促進	ICLEI
	United Nations University Institute for the Advanced Study of Sustainability (UNU-IAS)/Regional Centres of
	Expertise on Education for Sustainable Development
	UN-HABITAT
	Namib Desert Environmental Education Trust (NaDEET)
	Wahamba Development Org
	City of Okayama, Japan
	RCE Chubu
	Ricoh Company & Drishtee, Japan/India
	Barcelona More Sustainable Schools Programme
	City of Hamburg
	Gaia Education
	Mexico City
	Global Network of Learning Cities of the UNESCO Institute for Lifelong Learning
	World Network of Biosphere Reserves of the UNESCO Man and Biosphere Programme



ESD 岡山アワード 2015 応募用紙

(A) グローバル賞

1. 団体情報

フリガナ	
団体名	
フリガナ	
代表者氏名	
フリガナ	
担当者氏名／ 役職／部署	
住所	〒 —
電話番号	
FAX 番号	
Email アドレス	
ホームページ	
団体の概要	【日本語 350 字程度】

2. 照会先

※事前に照会先の団体・組織及び担当者に連絡を取り、応募の趣旨をご理解いただいた上で記載してください。

団体・組織名	
担当部署及び 担当者名	担当部署名： 担当者名
連絡先	メールアドレス： 電話番号：
区分	照会先の団体・組織について、該当するものを一つチェックしてください。 <input type="checkbox"/> ESD 岡山アワード主催団体 <input type="checkbox"/> GAP ユネスコ・キーパートナー <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他

3. 事業概要

①事業名		
②実施期間	開始時期	年 月
	終了（予定） 時期	年 月
③主な対象	対象地域	
	対象人数	約 人
④事業規模	年間事業経費	約 円
	年間に関わる スタッフ数	約 人
⑤財源	事業にかかる経費の主な財源（補助金、寄付金、公的資金、事業収入等）について記載してください。	
⑥実施体制	事業の実施にあたって、参画・連携・協働している団体・組織等の体制（図）及び各主体の役割を具体的に記載してください。	
⑦実施内容	目指す地域コミュニティのビジョン、事業の目的・目標（数値を含む）や実施方法などを具体的に記載してください。【最大 1200 字】	
⑧分野横断的な取組	どのように社会、経済、環境等の視点を一体的に組み入れて、事業を実施しているかについて具体的に記載してください。【最大 500 字】	

<p>⑨ESD 事業としてのアピールポイント・特徴</p>	<p>ESD 事業としてのアピールポイントは何ですか？ESD 事業として他団体のモデルとなるような点等について具体的に記載してください。【最大 500 字】</p>
<p>⑩成果</p>	<p>事業を通じてどのような成果・改善がもたらされましたか？人や地域の変容（成長・改善等）や、成果の普及方法等について具体的に記載してください。【最大 500 字】</p>
<p>⑪今後の展望</p>	<p>今後どのように事業を展開していく予定ですか？ 拡張戦略、対象グループ、期間、年度予算などについて具体的に記載してください。 【最大 500 字】</p>

※記入欄は適宜調整してください。

4. 事業紹介用資料

本応募様式の外に、事業の概要やポイントがわかる資料を 1 ページ にまとめて提出してください。（必須）

※写真、図表、イラスト等も活用し、事業の魅力や内容が分かる資料を作成してください。

※サイズは A3 または A4。（タテ・ヨコ使いとも可）

5. 参考資料

事業内容を補足する参考資料（パンフレット、チラシ等）を添付する場合は、以下にリストアップしてください。（合計 5 ページまで）

- ①
- ②
- ③

ESD 岡山アワード 2015 応募用紙

(B) 岡山地域賞



1. 団体情報

フリガナ	
団体名	
フリガナ	
代表者氏名	
フリガナ	
担当者氏名	
住所	〒 ー
電話番号	
FAX 番号	
Email アドレス	
ホームページ	
団体の概要	【団体の概要を記載してください。最大 350 字】

2. 事業概要

①事業名		
②実施期間	開始時期	年 月
	終了時期	年 月
③主な対象	対象地域	
	対象人数	約 人
④実施体制	事業の実施にあたって、連携・協力しているステークホルダー及び各主体の役割について、具体的に記載してください	
⑤実施内容	事業のビジョン、事業を通じて取り組んでいる課題、目的・目標（数値を含む）、実施方法などを具体的に記載してください。【最大 1200 字】	
⑥ESD 事業としてのアピールポイント・特徴	ESD 事業としてのアピールポイントは何ですか？ESD 事業として他団体のモデルとなるような点等について具体的に記載してください。【最大 500 字】	
⑦成果と今後の展望	事業を通じて得られた成果や成果の普及方法、及び今後の展望について具体的に記載してください。【最大 500 字】	

※記入欄は適宜調整してください。

3. 事業紹介用資料

本応募様式の外に、事業の概要やポイントがわかる資料を1ページにまとめて提出してください。(必須)

※写真、図表、イラスト等も活用し、事業の魅力や内容が分かる資料を作成してください。

※サイズは A3 または A4。(タテ・ヨコ使いとも可)

4. 参考資料

事業内容を補足する参考資料(パンフレット、チラシ等)を添付する場合は、以下にリストアップしてください。(合計5ページまで)

①

②

③